

## 令和元年度（保健体育科）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	資料や見本を提示しているという項目において課題があるということが分かった。掲示方法ももちろんだが、タイミングにも工夫する必要がある。	体育分野では資料集活用して毎時間持参し、技能のポイントなどを確認する時間を設ける。また、見本の掲示などについては、最初と中盤にし、終盤はその振り返りができるようにする。	自身の技能をさらに向上させるために、習熟度別にアドバイスの内容や、技能のポイントなどを提示する。
2 年	体育の場合は、板書をするのが少なくなっていたことが分かった。生徒たちにわかりやすい授業をするためにも視覚的にも指導を深めていきたいと感じた。また、授業では落ち着いて授業を受けられていると思うが、生徒の感じ方によっては、教え合い活動が落ち着いてないと捉える生徒もいる。	板書のできる授業はできるだけ視覚教材を用いたい。また、生徒の教え合い活動などはさらに深められるように、どういう表現であれば皆が分かりやすく技能が伸びるかを探求していきたいと思う。また、次回に何を行い、どこまで達成することを目標にするということを伝えていく。体力を上げるためにも宿題も定期的に出していきたい。	学校のビデオカメラなどを用いて、生徒の運動に対して動き方や課題を見られるように配慮していく。自分の動きの課題を見つけて、成長につなげていきたい。
3 年	説明がわかりやすいという生徒がいる一方で、あまり思わないと回答する生徒もいる。わかりやすい板書をしている・資料や見本を提示しているというポイントが低かったので、視覚的な指導ができるよう教具など工夫していく。グラウンド等であまり映像資料や掲示を使うことがないからと思われる。	話す順番や板書の仕方、わかりやすく説明できるよう常に研鑽を積みながら行いたい。また、各種目のポイントなど拡大して掲示するなど生徒自身でも学習を進めていける様な準備をする。自身の運動の様子がイメージできない生徒にとっては、他者からの視点や映像が効果的なので、活用する時間を設定できるようにしたい。	実技において話をしながら自分たちで改善できる方法を見つけたいと考えている。技能別に更に積極的に種目に取り組んでいけるよう、技能のポイントや見取る視点を伝えて、多くの生徒が他者の運動を評価し、教え合いながら学習できる力を身に付けさせていきたい